

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 名古屋市立山王中学校 ] 担当教諭名 [ 福島 恭子 ] ( 1年1・2・3・4組 117名 )

相手国・地域 [ ネパール ]

海外学校名 [ Gorkha International Public Secondary School ] 担当教諭名 [ Thamman Bahadur Basnet ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際理解と協働的課題	20
	美術	絵文字のデザイン わたしの思いをカードに込めて	14
	道徳	富士山を守っていくために	1

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Protect Nature (自然を守る)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	「わたしたちの知恵で、地球上の全ての生物と資源を守ることができる未来を創って いきたい」 日本の生徒は環境を守り、全ての生物が平等に生きていける世界を表したいと思い、ネパールの生徒は人間が壊してしまった自然と人間が環境を守り共存していく地球の姿を絵に表したいと思いました。両方の想いを合わせて世界に発信したいメッセージにしました。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・異国と異文化への理解と共感</li> <li>・環境問題への意識の変化</li> <li>・異なる考え方への対処方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と相手国との英語能力の差が大きく、オンラインで即時理解することが難しかった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、予定変更が相次ぎ、相手校との調整がうまくいかないことがあった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネパールや外国への関心や親しみ</li> <li>・環境問題への意識の高まり</li> <li>・英語学習への意欲向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働していくことの楽しさを学んだ。</li> <li>・相手国の生徒の政治や教育への関心の高さを知り自分達の取り組みについて見直すきっかけになった。</li> <li>・拙い英語力でも協力し合えば伝わることを学んだ。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統や文化を象徴するものを描いたりデザインしたりして、自己紹介カードを作成した。</li> <li>日本を紹介する映像を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統や日本の文化を意識した。</li> <li>日本固有の色合いや模様に関心をもった。</li> </ul>	総合4 美術4
共有 テーマ学習	8月 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに関するニュースを調べた。</li> <li>ニュースから現在の課題とその原因と解決方法を考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近に様々な課題があり、課題に対して、自分達ができることがあることに関心をもつことができた。</li> <li>課題は、人だけでなく、地球上の全ての生物、資源にも影響を与えていることに気づくことができた。</li> </ul>	総合4
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの観点に分けて、お互いの考えを伝え合った。</li> <li>さらに疑問に思ったことを質問し答え合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点に対して、共通点や相違点があることを発見することができた。</li> <li>環境を守ることと経済発達の両立の難しさなどに関心を向けることができた。</li> </ul>	総合5
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを決めた。</li> <li>テーマに合うアイデアスケッチを出し合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は、海の担当になったため、海洋生物や人と海との関わりについて、意欲的に学ぶことができた。</li> </ul>	総合3 美術10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りをした。</li> <li>人と自然への関わり方について考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然との関わり方について自分の考えを持つことができた。</li> <li>他者との関わりで自分の考えを広げることができた。</li> </ul>	総合2 道徳1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	日本の文化について、カードや映像で伝え合う場面で、日本とネパールの文化の違い、考え方の視点の違いに気が付くことができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	「経済発達も自然を守ることもどちらも大切であるが、両立が難しいのではないかと。でも、両立していかなければいけない。」 「今の技術は、人が自然を犠牲にした上に成り立っている。技術の恩恵を受けながら、自然と共存する方法を見つける必要がある。」など、生徒は自分なりの考えを発表することができた。
主体的に考え行動する力	3	図やイラストを用いて、現代の課題に対する解決方法を話し合いながら見つけることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	Zoomミーティングに向けて、英語の表現について調べ、自主的にコミュニケーションをとるための練習をしていた。表情やジェスチャーなどからも相手の思いを読み取ろうとしていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	図にしたり、イラストに描いたりして視覚的に伝えるよう工夫していた。図やイラストも色の性質を意識して伝わりやすいようにした。異なる思いを形にするため、アイデアを出し合った。

## 補足 <壁画に込めたメッセージ>

Protect Nature 「わたし達の知恵で、地球上の全ての生物と資源を守ることができる未来を創っていききたい」



私たちは「SDG3:すべての人に健康と福祉を」と「SDG8:働きがいも経済成長も」について論点を5つに絞って課題と解決方法を話し合いました。

### 1. 海洋汚染について

人間が環境を汚してしまったことに気づき、海を守りたい思いをもちました。

### 2. 環境破壊について

人間が環境を破壊していることに気づき、日本の生徒は空気汚染に目を向けたのに対して、ネパールの生徒は森林破壊に注目しました。そして、地球上の全ての生物を守りたい思いをもちました。

### 3. 食料問題について

日本の生徒は大量の食料を捨てていることについて注目し、ネパールの生徒は貧富の差による問題を考えていました。そして、食物を大切にするために環境を守る必要に気づきました。

### 4. 差別について

日本の生徒は男女差別や偏見について考えましたが、ネパールの生徒は宗教の違いや偏見による差別を考えていました。そして、人々の偏った考え方が差別を生み出すので教育が大切であると考えました。

### 5. 医療問題について

日本の生徒はコロナウイルス感染症に対する対応について考えたのに対して、ネパールの生徒は国民が平等に医療を受けることや公立病院の普及について考えていました。そして、人々が幸せに平等に暮らすために政府の対策が必要であると考えました。

オンラインミーティングで5つの課題についてそれぞれの考えを共有してさらに話し合いました。ネパールの生徒は環境問題への日本の政府の取り組み方や日本の医療について関心をもち、日本の生徒は今まで自分たちの関心が薄かった森林破壊問題や宗教による問題に関心をもつようになりました。

話し合いを経て自分たちに生まれた想いをどのように壁画に表すのかを考えました。日本の生徒は環境を守り、全ての生物が平等に生きていける世界を表したいと思い、ネパールの生徒は人間が壊してしまった自然と人間が環境を守り共存していく地球の姿を絵に表したいと思いました。

壁画には、海に囲まれた日本は、下半分に、海をベースに海洋生物、生態系、生物多様性が環境に及ぼす重要な側面を描きました。一方、ヒマラヤ山脈があるネパールは、上半分に、雪を頂いた山脈に沿って森が遺伝子、種、生態系の多様性を維持する上でいかに重要であるかと陸生生物が環境や自然の貴重な資産となっている側面を描きました。

さらに、右半分には人間が知恵を働かせて環境を守り、全ての生物が幸せに暮らす世界を描き、左半分には人間によって壊されてしまった環境を描きました。